

PTA 会員各位

令和3年1月吉日
ふじみ野市立駒西小学校
PTA 会長 石井 幸

改革トライアルに向けてのアンケート結果報告と補足説明

日頃より PTA 活動にご理解とご協力頂きありがとうございます。12月に実施した改革トライアルアンケートの集計結果をご報告いたします。貴重な多数のご意見ありがとうございます。予想を上回る回収率とご意見に PTA 役員一同、皆様の関心の高さを感じております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。頂きましたご意見への補足の説明も合わせて記述しておりますのでどうぞご覧ください。

家庭数（配布時点）：396 ・ 回答数：311 ・ 回収率 78.5%

① 各設問の集計結果と該当ご意見

1 【会議と運営に関して】

1-1 定期総会を集会形式のみではなく、必要であれば WEB または書面にて行うことについて

賛成：304（97.8%）・反対：2（0.6%）・未回答：5

1-2 4委員会廃止に伴い、運営委員会を廃止する。審議が必要な場合は、メールや書面を利用した提案、周知、決議を行う。

賛成：301（96.8%）・反対：3（0.9%）・未回答：7

【ご意見】

- ・委員の仕事無くすことと公平性を保つための運営委員会という“議会を解散させること”が混同されている気がする。業務としては可能だと思うが、透明性が失われると共に完全な本部主動になってしまう。推薦活動に関しても同様。議決権が無くなる運営委員会報告書が無くなることについての対策が必要に思う。型だけでも残す方が良くと思う。1、2年では判断できない。
- ・勝手がでない様工夫が必要。
- ・運営委員会を廃止しても、PTA 活動は滞ることなく活動はしていけると思うが、今まで唯一だった本部以外の会員のヒアリングの場がなくなってしまうデメリットもある。（本部の勝手感もでてしまう）別のヒアリングの場を設けるなどの対策が必要。

2 【学級委員会に関して】

2-1 学級委員を廃止することについて。学級への連絡は一斉メールを利用

賛成：297（95.4%）・反対：12（3.9%）・未回答：2

【ご意見】

- ・学級委員だけ残す。ただし学級委員を2名に増やす。本部の負担を考えての案：学級委員の仕事①給食試食会、集金 ②推薦活動：2名には特典用意。音楽会招待など。

2-2 運動会の手伝いをボランティアにすることについて

賛成：300（96.5%）・反対：9（2.9%）・未回答：2

【ご意見】

- ・運動会のボランティアはなかなか集まらないと思う。以前経験がありますが、運動会のAMがプログラム通り行われないので、自分の子の競技との調整がとりづらかった。周りからも不満が多かった。新入生の受付はバラバラでたいへんでした。マニュアル徹底すべき。

2-3 PTA会費の集計を本部役員のみで担うことについて

賛成：291（93.6%）・反対：14（4.5%）・未回答：6

【ご意見】

- ・会費が【会員⇄本部】だけになると、現金なので問題がおきないとは言い切れない。第三者が間に入るメリットもある。簡素化は簡単だが危険な面も。色々な保護者がいると思うので。例)「私はちゃんと入れた」「いや、入ってない」になりそう。今後どの様に本部の人間が決まるかにもよる。本部の人間が呼んだ本部の人間の信頼性の問題。
- ・PTA会費の集計は負担増であればボランティアまたはサポートを募ってもよいかと。

2-4 6学年卒業関連対応、5・6学年の学校旅行費集金の手伝いをボランティアにすることについて

賛成：287（92.3%）・反対：19（6.1%）・未回答：5

【ご意見】

- ・旅行費集金はお金のことなので、係を決め責任を持ってやらなければ問題が起きた時にトラブルになりそう。

3 【広報委員会に関して】

3-1 広報委員を廃止することについて

賛成：292（93.9%）・反対：16（5.1%）・未回答：3

3-2 広報誌「駒」の作成をボランティアにすることについて

賛成：288（92.6%）・反対：18（5.8%）・未回答：5

【広報誌についてのご意見】

- ・毎回誰に対しての広報かわからず、内容も同じなので、簡略化に賛成。予算もけっこうかかる上に内容にタイムラグが生じるのでペラでもいいと思う。先生方の紹介は人気コンテンツなので、ここだけで

も良いと思う。

- ・①「駒」廃止。駒西タイムズのみ。②「駒」のみ。駒西タイムズ廃止③「駒」+「駒西タイムズ」=ボランティア(あわせて)等合理化しても良いかも。やったださる方がいれば現状のままでよい(提案)
- ・広報誌の必要性を感じません。先生の紹介は新年度に学校の方から何かしら出してもらえれば良いのでは？
- ・広報については、ボランティアとなると毎回人がかわると最終の編集の時に大変ではないか？
- ・発行自体廃止で良いと思う。P連や学校がどう思うかは知りませんが。
- ・広報「駒」の作成をボランティア化することについて、出さなくてもOK! ぐらいの勢いならなくてもいいと思う。
- ・本部の方の負担を考えると広報誌の製作を業者に委託することも有りでは。

4【成人厚生委員会に関して】

4-1 成人厚生委員を廃止することについて

賛成：299 (96.1%) ・反対：10 (3.2%) ・未回答：2

4-2 ベルマーク関連作業をボランティアにすることについて

賛成：298 (95.8%) ・反対：11 (3.5%) ・未回答：2

【ベルマークについてのご意見】

- ・児童の委員会活動でできると良いと思う。
- ・WEB ベルマークへの完全移行。これ周知の方向に労力を。集められる額が全く違うので。
- ・ベルマーク回収を廃止してほしい。
- ・集まったベルマークを家に持ち帰れば家で仕分けして再び返すなどお手伝いできる。
- ・子供も参加して出来るベルマーク活動、とても良い

4-3 給食試食会を企画運営の場合には本部で担う

*家庭教育学級の一案として本部が企画開催を検討。必要に応じてボランティアを募ることについて

賛成：303 (97.4%) ・反対：6 (1.9%) ・未回答：2

【ご意見】

- ・栄養教諭や養教、給食センターの栄養士に依頼できないか？

5【推薦委員会に関して】

5-1 推薦委員を廃止することについて

賛成：301 (96.8%) ・反対：8 (2.6%) ・未回答：2

5-2 推薦活動を本部役員が担うことについて

賛成：293 (94.2%) ・反対：11 (3.5%) ・未回答：7

【ご意見】

- ・そもそも推薦委員の存在意義は本部が本部の人をさそう事により価値感が偏ったり、仲良しグループの様にならない為だったのでは？メリットばかりではない。楽だとは思いますが。
- ・推薦活動に関しても同様：業務としては可能だと思いますが、透明性が失われると共に完全な本部主動になってしまう。
- ・推薦活動は不要では？と考えている。
- ・推薦委員に関しては、活動による選出実績がよく分からないので、一度本部で存続意義を検証して頂きたい。
- ・本部の負担にならないなら賛成

6 【会計監査に関して】

6-1 会計監査間で活動内容の引継ぎをスムーズにおこなうために、2年毎に2名選出から、毎年1名選出することについて

賛成：294（94.5%）・反対：14（4.5%）・未回答：3

【ご意見】

- ・会計監査は2人の方が相談したりダブルチェックが出来るので、1人でも十分なら賛成。

7 【本部役員に関して】

7-1 副会長の人数を2～7名とすることについて（2年任期の中で、本人の希望による1年目副会長から2年目会長へのスライドを可能とするための増員）

賛成：304（97.8%）・反対：4（1.2%）・未回答：3

8. ボランティアや本部の活動について

8-1 広報誌「駒」について：都合がつけばボランティアとして関わってみたい

はい：67（21.5%）・わからない：113（36.3%）・いいえ：131（42.1%）・未回答：0

【ご意見】・広報のボランティアは全ての回ではなく1回とかデータの編集のみで可ならできる。

8-2 ベルマーク関連作業について：都合がつけばボランティアとして参加してもよい

はい：202（65%）・わからない：59（19%）・いいえ：50（16%）・未回答：0

8-3 運動会の手伝いについて：都合がつけばボランティアとして参加してもよい

はい：199（64%）・わからない：66（21.2%）・いいえ：46（14.8%）・未回答：0

8-4 読み聞かせについて：都合がつけばボランティアとして参加してもよい

はい：111（35.7%）・わからない：77（24.8%）・いいえ：123（39.5%）・未回答：0

8-5 クリーンアップについて：除草や落ち葉清掃等、都合がつけばボランティアとして参加してもよい

はい：228 (73.3%)・わからない：57 (18.3%)・いいえ：25 (8%)・未回答：1

8-6 給食試食会に参加したことがある。もしくは、今後参加したいでしょうか

参加したことがある：117 (37.6%) (参加回数 1回：84 2回：25 3回：5 4回以上：3)

都合がつけば参加したい 151 (48.6%)・参加したいと思わない 68 (21.9%)・未回答3

8-7 フルタイムの方でも参加できるように、必要であればPTA活動を土曜日の午前中に活動する事について

はい：120 (38.6%)・どちらでもよい：150 (48.2%)・いいえ：33 (10.6%)・未回答：8

【ご意見】

- ・学校が休みなら活動なしが良いと思う。土曜学校等の日に時間をとっての活動なら良いと思う。
- ・土曜日でも仕事をしていて参加は難しいが、関わることがあればお手伝いしたいと思う。
- ・土曜日でも定休とは限らず、両親とも就労のため曜日を限定しての活動は参加しづらい。

② ご意見一覧：

以下、類似するものをカテゴリーごとにまとめました。活動についての具体的なご提案や、その他のご意見も多数お寄せいただきました。

～PTA本部の負担が増えるのでは、本部役員のなり手がなくなるのではというご意見～

- ・ボランティア活動へのシフトは基本賛成です。活動日が早く知れると参加しやすい。反面本部役員の負担が増えるのではないかと心配。
- ・委員廃止後ボランティアを募る際ボランティアが集まらなかった時などの懸念事項が気になりました。一部の方に負担がかかるのが心配です。
- ・委員会を廃止し、ボランティアにすることは賛成ですし、ボランティアとして参加しようと思いましたがPTA役員が立候補で決まらず、くじ引きでPTA本部になる人が決まってしまうのではないかと、思っています。
- ・各委員会を廃止することによって本部役員に負担が集中し、本部役員のなり手がなくなるのではないかと危惧しています。
- ・フルタイムで働いているため負担が減ることには賛成です。でも、その分役員の方の負担が増えて、立候補者がでるのか？とも思います。
- ・賛成とさせていただきましたが、本部役員の方のご負担を考えますと、全て賛成であることがいいことかという事に迷いを感じることも確かです。
- ・委員会がなくなる事により本部の人数が増えたり強制的にやらなければいけなくなる時がくるのが不安。ボランティアで全てまわるのが不安。
- ・補足資料も拝見しました。いくつか心配になった点もきちんと答えられていて、すべて賛同としまし

- た。とは言え、本部役員の方の負担、そして、それによる選出の難航がやっぱり心配です。
- ・PTA 活動を簡素化することには基本賛成なのですが、それによって本部役員の負担が激増することには疑問を感じます。
 - ・委員会を全て廃止してしまうと本部のなり手がなくなってしまうと思います。広報も大変なのでボランティアの人が出るか疑問です。
 - ・ボランティア活動シフトとあるが、全般的に本部の負担が増えてしまうのではないかと思う。ボランティアにしたところで、やらない人はやらない。負担を負う人は同じになると思う。
 - ・本部の負担が大きくなりすぎないといいなと思います。

～活動についてのご提案～

- ・10年免除のメリットがなくなり、推薦活動も担うことで本部のなり手が集まるか心配にはなります。簡単に引き継げるマニュアル化を進めて任期希望性等出来れば（1年でも、長期でもOK）良いかと思いました。
- ・各委員について、各クラス〇名とせず、やりたい人がやりたい委員活動を行う。人数がかたよっても、できる範囲の無理のない活動をする。ポイントをつける。今後、完全復活したときに、ただのボランティアではやって損をするので、ボランティア1回につき役員ポイント1をつけるとか。運営委員会はWEB、メール、書面、Zoom利用。
- ・コロナ禍で大変な中での改革、お疲れさまです。Zoomや一斉メールの活用で、役員の負担が減らせれば良いと思います。
- ・コロナ禍の中、子供が学校に行けるだけでどんなにありがたいかと思いました。ボランティアだけになるとおまかせだけの人が出てしまうことも考えられます。内容ごとに分けて役割を分担するなどもありかも？とも思ったりします。改革、大変おつかれ様です！
- ・思い切った改革案を示していただきありがとうございます。昨年読み聞かせボランティアに参加しましたが、申し込む気持ちになったのは、体験談やボランティアの様子を分かりやすく報告していただいていたからです。今後もしボランティア活動が中心になったら、活動報告や感想をお知らせいただけると迷っている方にも様子が分って参加しやすくなると思います。
- ・どんどん変えるのが正解と確信しています。本部→ボランティア本部みたいな感じですよ。そういう名前にした方がわかりやすいかもと感じました。その方が本部に入る人のハードルも下がりそうです。4月に「参加できるボランティア一覧」みたいのを配ったら参加しやすそう。学校に関わるメリットも記して。いろいろ考えて下さり感謝です！
- ・PTAとしての組織がなければならぬのは、P連有るから故、。一層の事、P連抜けてみては！？
- ・思い切った改革にびっくりしました。とても良い案だと思います。ただ本部の方の負担を考えると広報誌の製作を業者に委託することも有りでは。卒業なのでトライアルに参加できませんが、改革、賛成です！
- ・ボランティアが集まらなると結局本部役員の方の負担が大きくなってしまいます。今年度ボランティアの方を募集して活動し、本部役員の方の負担やボランティア不足がなかったのか報告してもらえるといいかなと思います。
- ・ボランティア制にすると、人数が足りなかった、という日もあると思う。結局、本部の方の仕事負担が多そう。本部の人数を増やした方が良い。（ボランティア部、登録制など）

～ご指摘～

- ・「誰もが参加しやすいPTA」へというキャッチコピーには賛成。しかし二行目の文言は、できない人を排除していると思う。「できない人でも、できる時に、できる事を」実現できるPTAになってほしい。
- ・改革をするという事は、とても労力のいる事だと思います。皆様のご尽力、感謝致します。ただ、こういう時にはついつい「いい方向」ばかりに意見が集まり、目も行きやすいと思います。抜いたりする部分はあって良いと思いますが、一通り見て「全て抜く」は危険な気もします。「悪い事」に対する話し合いが必要な気もします。
- ・ボランティアではなく係として、きちんと責任感をもってできるかたちでないと今後成り立たない。本部役員の人数を増やすだけのことになる。

～その他のご意見～

- ・PTA活動において、不定休なのでなかなか参加できません。
- ・コロナ等もあり、メール等で済むことはメールなど非対面でも良いと思います。お手伝い等をしたい気持ちもありますが、あまり人が出入りして感染拡大するのも心配です。
- ・運動会などどうしても必要な人数が集まらない時にどうするかが大変だとは思いますが、基本的にはボランティアとすることには賛成です。
- ・誰もが参加しやすいPTAへの改革案、補足資料もとても分かりやすかったです。ぜひ参加しやすい改革をしていただきたいです。ありがとうございます。
- ・思い切った改革案とてもいいと思います。
- ・改革案について、とてもよい見直しの内容だと思いました。
- ・色々と考えてくださってありがとうございます。今後もどんどんとやってみて、不都合があれば変えていく、という感じのやり方でやっていただけたらと思います。
- ・非常に良い取り組みだと思います。ありがとうございます。
- ・1年生のため、学校の行事や仕事などよくわからなかったため、上記のアンケートは「わからない」も入っています。できる限り負担を減らしていくのは良いことだと思うので、トライアル賛成です。おしつけあいになり不仲になるのは一番辛く嫌なことだと思います。いろいろと考えていただきありがとうございます。
- ・ボランティア制により負担を感じず参加できる環境になることを願います。本部の方の負担が多いので、様々な参加方式でスムーズにいきますように！！
- ・PTA活動の内容を減量させ、できる方が対応できる形式ですすめて行くことに賛成です。
- ・なかなか勤務の都合で協力できず、申し訳ありません。色々と考えて下さってありがとうございます。できる時にできる事を行うという計画、賛成いたします。
- ・今回の改革案は現代のニーズに合っていると思います。コロナ禍の中、本部の皆様には色々にご参加いただき感謝しております。都合がつけば色々なボランティアに参加していきたいです。
- ・PTA改革を進めて頂きありがとうございます。ここまでもってくるまで、とても大変だったのではないかと思います。本部役員の方々のご尽力のおかげだと思います。これで毎年の役員決めの心労から解放されそうです。ボランティアもなるべく参加できればと思います。
- ・時代に即した素晴らしい改革をご考慮下さり誠にありがとうございます。強制ではなく、「できる人ができる時にできる事をやる」これによりかえって自発的にされる方も多いのではと考えます。親として

児童生徒全ての為、自分に何ができるのかと模索して行動していきたいです。本部の皆様、本当にご尽力いただきありがとうございます。心より御礼申し上げます。これから！ですが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

- ・全面的に賛成です。色々と考えて下さって本当にありがとうございます。
- ・全ての改革について賛成します。ありがとうございます。
- ・参加しやすいPTA 賛成です！！ありがとうございます。
- ・お忙しい中色々と考えて下さってありがとうございます。必ずこの時間に活動するということが少なくなると参加しやすくなると思います。
- ・コロナの新しい生活になり、ムダな物はなくて良いことはこの際廃止で良いと思う。
- ・土日祝い、平日と関係ない職場に勤務しているので今回の役員のあり方の見直しはありがたいです。自分も協力できる時にボランティアできればと思いました。
- ・都合がつけばボランティアとして参加したいと思うが、土曜日も平日も仕事の為、難しい事が多い。
- ・PTA 活動ごくろうさまです。改革案、どれも素晴らしいですね。私も働いているのでより働いている人が参加しやすいPTA 活動になれたらいいなと思います。
- ・本部の仕事を厳選できるとよいと思う。

皆様のご意見をもとに今後のPTA 活動がより良いものとなるよう慎重に検討していきます。

ご協力誠にありがとうございました。次ページより頂いたご意見への補足資料となります。

<補足説明資料>

ご意見の中で、特に懸念事項について補足説明いたします。トライアルの目的は全てを無くす為ではなく、本当に必要なものをあぶり出すためのトライアルであります。会員の皆様の自主性を重視して、より良いPTA活動へ向かうためのトライアルであるからこそ、思い切って試すことが重要ではないかと考えております。

以下、頂いたご意見に対しての補足説明となります。

■ 4 委員会廃止に伴う、運営委員会廃止に対しての懸念：

- ・透明性が失われないように、勝手感が出ない様な対策
- ・議決権が無くなる運営委員会報告書が無くなることについての対策
- ・本部以外の会員のヒアリングの場がなくなってしまうので別のヒアリングの場を設けるなどの対策の必要性

透明性につきましては、本部会での学校との意見交換（PTA活動に関する会員からのご意見メールやボランティア活動でのご意見を吸い上げた事案も議論します）、議決が必要なのは書面等で会員の皆様に議決を頂くという事はこれまでと変わりません。他、会計監査や運営委員会後の報告書である「ふれあい」発行に代わる活動報告書等で維持できるものと思っております。PTA会員からのヒアリング、意見交換には、学校応援団活動を含めたボランティア活動時及びPTAメールにて活用いただきたく思います。

近年の運営委員会では、本来でしたら活発な意見交換の場として活用すべき場が、各委員会からの「書面に書かれてある通り。」と報告の読み上げの場となっていたのは否めません。開かれたPTA、透明性のあるPTA活動のためにもPTA本部から積極的に意見を会員からいただくことにも力を入れていきます。

トライアル年にて、運営委員会を行わずに何か不具合や代替りのヒアリングの場が必要となった場合には、そのような場を設けて、対面でのヒアリングの場の必要性、重要性を改めて認識できればと思っております。また今回のようにアンケートをとり、会員からの生の声を頂くというのも非常に有効であると思っております。

今までのように年度初めに各委員会に活動費を渡し、運営委員会で都度活動報告する必要はボランティア化することでなくなります。単発のイベントは必要があれば見込み経費を直接ボランティアに手渡し、イベント終了後に期間をあけず本部会計が残額を受け取ることができ、使わないかもしれない予算を渡すことがなくなります。これは年度中、お金を預かっていないといけない各委員の負担もなくなり互いにメリットがあると思っております。

■ 「学級委員は残すべき」というご意見：

本当に必要なものをあぶり出し、残すためのトライアルであり、トライアルであるからこそ、おもいきったことを試す機会であると考えますので、一度学級委員は選出せずにトライアルできればと思っております。

ます。学級委員廃止については、賛成95.4%の集計結果からも学級委員の仕事内容は要検討であるといえます。学校側のクラスごとのメール配信システムが追加完了したこと、学校は学級委員を通さずとも常に保護者の意見を聞ける開かれた体制であることから、ボランティアに割り振れるかを試し、トライアルを通して学級委員会を存続するべき役割かを再考する必要があると思います。

■運動会のボランティアの人手の懸念：

アンケート集計結果にて「都合がつけばボランティアとして参加しても良い」という回答が65%（199名）となっております。ご協力いただく意思のある方が、過半数を超えていることに大変心強く思っております。人員配置の検討、当日スムーズに進むマニュアルを作成し、実行、改善をしていく必要があります。

また、学校側とも協議し、必要最低限のボランティアで済むようにしていく方向です。

事前のボランティア募集にて、人員配置を検討し、やはりボランティアだけでは無理だと判断した場合、翌年の運動会からは再度係を選出したいと思っております。

■PTA会費の集計を本部役員のみで行うことについての懸念：

人を介して現金を預かるので、第三者が間に入ったとしても100%問題が発生しないとは言い切れません。会費を提出した会員への信頼、クラス担任への信頼、そして、PTA本部役員への信頼と、皆を信じて行わざるを得ません。

PTA会費の集計作業自体の流れですが、まず、PTA会費はクラス担任が預かります。今年度におきましては、まず本部会計2名を除く本部役員がペアとなり、それぞれが1クラスずつを受け持ち、提出者の名前前チェック、集計表に正の字で金種ごとにカウントした後、ペアの相手と交換でダブルチェック。ペアの相手とのチェックが済んだ会費は、本部会計2名が最終チェックしました。今年度の集計作業は例年よりも作業時間の短縮はもちろん、第三者をはさまず本部役員各自が真っ先に集計作業を扱うことで、クラスごとに誰が触ったかが最小の人数になり、不正もより起こりづらい環境となりました。

過去の集計方法は、クラス担任より預かったPTA会費をまずは学級委員が集計、その集計を本部役員が再チェックし、最後に本部会計が再再チェックをしておりました。今までの集計方法ですと、本部役員、及びその後の本部会計がチェックする間、学級委員の方々は室内より一歩も外に出られず終わるのを待つという長時間の拘束があり、不効率でもありました。

トライアル中及びその後に、もし、第三者の監視の元での作業の必要がある場合には、例えば学校側に要望し、第三者の立場にて先生に集計作業の様子を見ていただくのも一つの手だと思います。

■6学年の卒対、5.6年の学校旅行費集金の手伝いをボランティア化することについて：

・係を決めて責任を持ってやるほうがいいのか？

まずは、卒業関連対応ですが、今年度は既にボランティアを募り、立候補いただき自発的に進んでおりま

す。今年度のように係りとして決めなくても自ら立候補してくださるボランティアの方々が、責任もってやってくださると思います。

学校旅行費集金の手伝いについては、集金ボランティアは必須ではないという、学校側の意向も確認しております。これまでの学級委員による集金手伝いの流れは、説明会時に保護者から旅行費の受け取りチェック後金額を確認するという作業です。集金は当日中に業者へと渡されています。先生方が集金の手伝いに入る事でボランティアを募らなくとも可能な作業であるとは聞いてはおりますが、ボランティアに協力いただくと、作業に取り掛かる先生の人数も少なくすみ、双方チェックによりトラブルも起こりづらいとの観点でボランティアとしてアンケートに組み込みました。

この点につきましては、学校側との協議でより良い方向に進めればと思っております。

■広報誌「駒」のボランティア化及び広報誌発行自体に対するご意見：

広報誌発行においてはPTA会員の意見を反映しながら、ボランティアの方々と話し合い、必要に応じて先生紹介のみ発行や時には発行しない等、柔軟な活動となっていければと思っております。

個人情報保護の観点から来年度からも近隣の自治会などへの配布は行わない方向です。ボランティアの方は負担を感じることなく、楽しみながら柔軟に活動していただければと思っております。

■ベルマーク関連作業をボランティアにすることについて：

・ベルマーク運動に対するご意見（ベルマーク回収の廃止、ウェブベルマークへの完全移行）

ベルマーク回収ポケットを設置することで、児童による仕分け、自宅での小集計作業で、児童と一緒に取り組める活動として楽しくできると思っております。なおかつ、作業効率も期待できますし、学校に何度と集まる必要もなくなります。[子どもがベルマークで社会貢献を学ぶ]というのも一つの考えであるかと思っておりますので、当面は回収を廃止せずに、ベルマーク回収ポケットを活用できればと思っております。

また、ウェブベルマークにつきましては、登録者数がPTA会員の6分の1程度となっており、紙ベルマークと比較しても少ない金額となっております。本部役員も今年度紙ベルマークの回収、仕分け等を経験しましたので、来年度はこの経験を踏まえ、マニュアルによる簡素化及びボランティア側の負担も少なくなるよう仕組を作ります。

■給食試食会について：

・栄養教諭や養教、給食センターの栄養士に依頼できないか？

給食センターでの試食会の開催も可能です。給食試食会については、PTA活動の1つである「家庭教育学級」で開催する講座候補の1つとして、社会情勢も鑑みながら選択していければと思っております。

なお、「家庭教育学級」とは、ふじみ野市教育委員会から要望の事業の1つであり、健全な児童生徒の育成と、家庭教育力の向上を図ることを目的としています。各PTA単位での開催回数の指定はありません。

んが、「積極的に実施すること」という実施条件が含まれています。PTA 会員からの要望等も踏まえ、家庭教育学級という学びの場を通して、健全な児童生徒の育成と、家庭教育力の向上を図る講座を開催できればと思っております。

■推薦活動を本部役員が担うことについての懸念：

・価値観の偏りや仲良しグループ、透明性が失われないか？

推薦活動の主たる活動方法は、会員に立候補・推薦書を配布し、自発的に立候補頂くことです。立候補される方が、ご友人となら活動してみたい等、立候補する方々にとっても各々ご事情があるかと思えます。大人数の方々に立候補頂いたのであれば、立候補の方々でお話し頂き調整頂く、というかたちになります。

トライアルにより本部の仕事が削減し、負担が少なくなってきたのがご理解いただけるようになれば、今まで本部役員に足踏みしていた方も立候補していただき、ご友人同士だけの本部役員構成にはならないと思っております。

今年度は本部が推薦活動を担うことにより随時希望者に直接の説明の機会と、人数の把握が出来ておりメリットを感じております。仲良しグループ、価値観の近いメンバーとなっても、今回のようにアンケートで会員の皆様のお声をいただきながら、議論、検討し進めていくことは大前提であります。大きな改革、審議事項は、これまで通り会員の皆様による審議、議決権行使により意思の表明ができることに変わりはありません。そのため特に重要な内容を本部が勝手に決め、偏った方向性で決まってしまうことは無いと思っております。透明性については、必要時に学校三役の先生方と本部会を行い、ご意見、アドバイスをいただきながら進めているため、アンケートや審議にあげる前の段階でも本部だけで勝手に進めていくことは起こり難いです。会員の皆様とは随時ホームページ、メール等にて情報共有し、開かれた PTA 本部となるよう努めます。価値観の偏りでの勝手感が出ないように、それと共に、透明性が失われないように努めてまいります。会員の皆様で気になることが出てまいりましたら、PTA メール等でご意見いただければと思っております。

■フルタイムの方でも参加できるように必要であれば PTA 活動を土曜日の午前中に活動する事についての補足説明：

「必要であれば」という前提により、PTA 活動に参加いただける会員の幅が広がるのではと思いアンケートに入れさせていただきました。現在、PTA 本部では打ち合わせや意見交換等が必要な場合には LINE の他オンライン会議を利用しています。ネット環境には個人差がありますので、参加できない方がいる場合には考慮していく必要もあります。コロナ禍である今年度は Zoom、LINE、LINE 電話、Google スプレッドシートでの共同編集等、初めて利用する方にとっては難しく思っていたツールも使ってみると意外とスムーズに使い、対面せずの PTA 活動に手応えを感じております。平日仕事をしている方にとっても参加しやすい、集まらなくとも出来る PTA 活動は現在の社会状況を鑑みても今後さらに活発になることと思います。

■PTA 本部の負担が増え、本部役員のなり手がなくなるのではという懸念：

トライアル中、立ち上げ当初はマニュアル作成、仕組作りで一時的に本部の負担が増えるかと思いますが、改革を実行、改善していくことにより本部の仕事も削減できると考えております。そうすることにより、今まで本部活動に興味はあったができなかった方々も参加しやすくなるかと思っております。今回の改革が実行された際は、従来の学校に出向いての活動内容は軽減されるのでお仕事をされている方でも参加出来る PTA 本部となるのが目標でもあります。今までの活動内容では躊躇していた方が、本部活動に参加しようと思ってもらえるのではと思っております。

そして、その実現にはボランティアの活性化が重要になってきます。会員の皆様それぞれにご事情はありますが、ボランティアにもご協力いただけると幸いです。

まずは、トライアル年で運営委員会を開催しないことで、本部役員は予定しているボランティア募集内容のマニュアル作成に時間を費やすことができます。過去、運営委員会を開催するために、事前準備、開催後の反省会など含め運営委員会 1 つにおいても多大な時間をかけておりました。

また、時にはマストではなく、柔軟な対応、取り組みも重要だと思っております。例えば、6 年卒対ボランティアが集まらなければ、本部でお花を用意のみなど、本部の負担が増えない範囲のコンパクトな活動でも対応できます。これまで行っていた活動を、一旦取り止め行わない年度があっても、マニュアルを参照することで、ボランティア募集以降の手順が明瞭になるよう視覚化につとめます。

改革を進める中で本部の仕事も更にスリム化し、マニュアルを作り、そのマニュアルを見たら引き継ぎなどなくても運営できる体制にし、本部役員の任期も近隣小・中学校役員のように 2 年から 1 年に将来的にはできる可能性もあると思っております。

■委員会活動からボランティア制へのシフトにおける懸念■

- ・集まらなかった時どうなるか？
- ・全てまわるのが不安

「ボランティアが集まらなかったら」ではなく「集まった人数で出来ること」での活動を行い、且つボランティアの方や PTA 本部役員に負担が大きく偏らないように年間を通して運営していきます。

これまで慣例化されてきた活動を覆し、希望者がいなければ、活動中止や最小限の活動内容に留める等、希望者がいない場合の代案を予め検討しておきながら、柔軟に活動できればと思っております。

ボランティアが集まらなかった時に PTA 本部の負担が増えるのではという懸念の声を多く頂いておりますが、これまでの年 3 回の運営委員会（以前は年 6 回）、開催のための事前準備、事後の反省会や書類作成含め、これは PTA 本部役員だけではなく、各委員会の委員の方々にとっても大きな負担の一部であったと思います。会議だけではなく、各委員会の中で業務を分担し活動していても、慣例による業務の中にはある可能性もあります。トライアルではそのあぶり出しをし、今一度各業務の必要性を見極められると思います。その中で、委員として残すべき活動があぶり出されれば、例えば学級委員会は存続する等の検

討をしていく必要があります。一児童一役員ルール負担の為の委員会制度や業務、ひいては本部役員の膨大な仕事への転換ではなく、義務ではなくなったからこそ会員の皆様の自主的な協力と応援による PTA 活動へと移行していきたいと思っております。

ボランティア募集の流れ、年間予定については、4月の懇談会時に配布し、案内いたします。万一、懇談会が中止の場合には、募集案内を家庭数配布、及び HP 掲載して案内や募集をしていきます。各ボランティアによって単発で募集、年間を通して募集等、中にはボランティア登録をしていただくほうが連絡のとりやすいボランティア活動もありますので、各ボランティア活動につきましては、4月に配布及び案内予定の書面にてご確認いただければと思います。また、単発での呼びかけは PTA メールや内容によっては書面で募集をしていきます。

実際に運営していく中で、本部の負担や感想等、途中経過含め報告させていただきます。活動中のボランティアの方からのご意見、PTA メールで頂戴したご意見等含めより良い活動に反映していきます。今後も社会情勢によって学校行事はもちろん PTA 活動の制限も十分に考えられます。柔軟に対応できるよう本部でも検討していきます。将来的にはボランティアの方々だけで PTA 活動が回っていく体制になるような基盤をトライアルしながら作っていけるように考えております。

以上